

浪人体験談

	Aさん	Bさん
学部	経済学部	社会学部
社会科目(二次試験)	世界史	日本史
得意科目	数学	日本史
現役時部活	テニス	剣道
現役時共通テスト得点	645	675
浪人時共通テスト得点	789	737
現役時オープン判定	C	D
浪人時オープン判定	A	D

浪人期間で気をつけたこと

Aさん

勉強面

浪人期間は自習の時間が増えたので勉強計画をしっかり立てることを意識しました。計画は1年単位、1~2週単位、1日単位の3つに分けて作っており、自分の状況に応じて作り直していました。計画があることで自分の立ち位置を把握できたため、長く感じた浪人期間でも途方に暮れることなくメンタルを保つことができました。逆に計画がないと普通の勉強が気まぐれなものになってしまうので、勉強計画は立てたほうが良いと思います。

生活面

浪人していると将来に対する漠然とした不安だったり、現役で合格していった友人に対して抱く劣等感だったりメンタルに悪影響を及ぼす要素が多々あります。そこで私は、一緒に浪人していた友人と積極的に会話をするようにしていました。息抜きにご飯を一緒に食べに行くことも多く、悩むことの少ない浪人期間を過ごせました。一見勉強とは関係がない時間でも、メンタルを保つための息抜きは大事だと思います。

Bさん

勉強面

「くだらないプライドを捨てる」私が浪人期に意識していたことはこの一言に尽きます。浪人したということは、知識の抜け、勉強方法の誤りなど改善点が山ほどあるはずですが、現実から目を背けず、徹底的に自分の弱点を克服しましょう。また、予備校に通う人は「理解した気になっているだけ」にならないように注意してください。授業中いつも頷いているのに、授業後に授業内容について質問してみると的外れなことを話し出す人が何人もいました。

生活面

浪人生が計画的に受験勉強を進めるうえで一番重要なことは、自分に合った勉強サイクルをなるべく早く確立することだと思います。浪人生には学校というペースメーカーがないので、早くに生活リズムを確立させないと無駄な1年を過ごすことになってしまいます。また、適度な休憩も大事です。毎日長時間勉強していると全く集中できない日がやってきます。そういう時は諦めて休息を取り、身になる勉強時間を増やしましょう。

浪人生へのメッセージ(浪人の際の心構え)

浪人をする人のほとんどは昨年どこかの大学に不合格となり、悔しい気持ちを味わったと思います。大学受験は、自分の順位が定員内に入れていれば合格する、という相対評価なので、どうしても受かる人と落ちる人がいます。皆さんにはぜひこの事実を意識して1年間生活してほしいです。ほかの受験生との比較という意識が薄れると、「～点とれば毎年受かっているから大丈夫」や「そもそも運だしな」といった思考に陥りやすいです。逆に、相対評価での勝負事と意識することで難化や易化に対しても冷静に対処でき、普段の勉強にも緊張感を持たせ、採点も他の受験生と比べて自分の答案がどうかと考えることでより良い答案が作れるはずです。

浪人にはメリットもあります。自分を見つめなおす時間が増えたり、その時に知り合った友人と長い付き合いになったりと長期的に見て今後の人生に良い影響を与えることだけでなく、浪人の期間そのものが楽しい思い出になることも多いです。皆さんも浪人生活をより良いものにできるように頑張ってください。応援しています！